

第5期泉わくわくプラン(泉区地域福祉保健計画)素案に係る 区民意見募集実施結果について

第5期泉区わくわくプラン(泉区地域福祉保健計画)の策定にあたり、区民の皆様に素案に対する意見を募集しました。

いただいたご意見は、泉区地域福祉保健計画策定・推進検討会に諮り、計画への反映や対応の考え方を検討いたしました。この度、実施結果と対応の考え方を下記のとおりまとめました。区民の皆様から、貴重なご意見を賜り、ありがとうございました。

1 実施結果概要

(1) 実施期間

令和7年9月1日(月)から9月30日(火)まで

(2) 意見総数

総計 39件

(3) 提出方法の内訳

電子申請 1件・電子メール 4件・郵送 7件・その他 27件

(4) 提出された意見への対応の考え方

(1)原案に反映したもの	1件
(2)意見の趣旨が素案に含まれているもの、または素案に賛同したもの	7件
(3)今後の検討の参考にするもの	4件
(4)小学生の意見 ※小学6年生が地域について学ぶ授業と連携し、ご意見をいただきました。	27件

2 頂いたご意見への対応の考え方

(1) 原案に反映したもの

NO	頂いたご意見(要旨)	対応の考え方
1	互いを理解して支え合うことで温かいまちになることが望ましいが、現状の社会情勢では難しいと感じる。特に若い世代など、人と関わることが面倒だと思う世代がいることも大きな課題である。	計画においては、地域活動への参加を促すとともに、「新たな担い手の育成」として、子どもたちが地域活動にお手伝いとして参加することを促すなど、若い世代の方々が地域とつながりを作る取組なども進めています。また、近所の人々との挨拶や趣味のサークルへの参加などの身近なこと、興味のあることからも「つながり」を作ることができます。地域のつながりは、ソーシャルキャピタルとも呼ばれており、本人にも良い影響を与えることが明らかになっています。そのため、身近な人ととのつながりの大切さについての周知も必要です。頂いたご意見を踏まえ、計画にはコラムとしてソーシャルキャピタルについて掲載いたします。

(2) 意見の趣旨が素案に含まれているもの、または素案に賛同したもの

NO	頂いたご意見(要旨)	対応の考え方
2	「死にたい」ではなく「消えたい」と思う若者の安心できる居場所が必要。	生きづらさを抱えた方への支援については、一人ひとりに寄り添った支援を実現できるよう、適切な相談先や安心できる居場所の情報提供などの支援を進めています。また、計画においても、支援団体のネットワークなどを通じて、情報や課題を共有し、連携しながら支援を行ってまいります。
3	高齢期の心身の衰えにより、生き甲斐を失いがちである。高齢者が健康で楽しく、誰かの役に立つように社会で活動できる場所を作ってもらいたい。	高齢の方も地域活動に参加することにより、つながりが生まれ、生き生きと元気に過ごせることが重要であると認識しております。計画では、地域活動に参加する人を増やすため、「地域活動に参加するきっかけ作り」を掲げており、今後も取組を進めてまいります。
4	多世代交流により互いに教え合ったり、学んだり、創作活動ができる場所があると良い。 健康づくり、介護予防として運動に取り組める講座があると良い。健康づくり、介護予防として栄養講座があるとよい。	計画では、「様々な人との交流の推進」や「将来を見据えたライフステージに合わせた健康づくりの推進」などを掲げており、頂いたご意見につきましても、こうした取組を進めていく中で、保健活動推進員や食生活等改善推進員など地域の方々とも協力しながら引き続き、取り組んでまいります。

NO	頂いたご意見(要旨)	対応の考え方
5	いずみ中央駅近に「こども食堂」が欲しい。 また、子どもが異文化体験する機会があるといい。	泉区には、子育て世代を歓迎し、応援してくれる施設・団体が数多くあり、地域主体の「こども食堂」も行われています。計画においては、こうした取組を支援するとともに、情報発信をしていきます。また、子どもが異文化体験する機会については、計画では「様々な人との交流の推進」を掲げておりますので、こうした取組を推進する中で、頂いたご意見について共有し、引き続き取り組んでまいります。
6	猛暑の折、0歳児の遊び場が少なく探すのも大変だったので、相鉄沿線に子育て支援の遊び場や、遊び場が併設されているカフェがあると良い。	泉区では、子育てに優しいまちを目指して、居場所、子育て相談、イベント・講座など、幅広い子育てニーズに対する支援を展開しています。計画においては、こうした取組を支援するとともに、情報発信をしていきます。計画においても、こうした子育て支援の取組を推進する中で、頂いたご意見について共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。
7	子どもと一緒に出掛けられる所が増えると嬉しい。また、気軽に相談できる場所もあればあるだけがあると良い。	
8	子ども向けのイベントが沢山あると良い。	

(3) 今後の検討の参考とするもの

NO	頂いたご意見(要旨)	対応の考え方
9	地域活動(ボランティア)には災害時や人命救助なども含まれるため、必ずしも「楽しさ」だけではない。 そのため地福計画の愛称として「わくわく」という表現が適当ではない。	ご意見の通り、ボランティアや地域活動には必ずしも「楽しさ」だけではない課題や側面もあります。 しかし、泉わくわくプランという愛称は、第4期計画策定時の区民意見募集に合わせて決定したものです。「わくわく」しながら取り組むという意味も込められていますが、泉区の豊かな自然環境や泉をイメージさせる「湧く(わく)」を用いることで、泉区らしさを反映させた計画であることを表すことや、計画を通じて、温かい思いやりの気持ちが「わく」ことを期待する、などの想いも込められています。こうした様々な想いから、愛称として「わくわく」という言葉を用いています。 なお、第5期計画においては、基本理念や目指す姿を継続する方針であり、愛称も引き続き使用することでこれまでの取組との一貫性と認知度を維持していきます。
10	親子が集まり、活気があるゆめが丘(ソラトス)から泉わくわくプランを発信してもらいたい。	泉わくわくプランが広く区民の皆様に伝わるよう、様々な地域資源を活用、協力を得ながら計画の周知や情報発信についても工夫してまいります。
11	いずみ中央駅付近に「こども食堂」が欲しい。 生後半年以降乳児も対象とした集団予防接種会場の設営を希望。 緑園西小学校跡地を地域向けに再利用してほしい。 区役所や駅前に図書館返却ボックスを設置してほしい。	泉区には、子育て世代を歓迎し、応援してくれる施設・団体が数多くあり、地域主体の「こども食堂」も行われています。 また、集団予防接種会場及び緑園西小学校跡地につきましては、頂いたご意見について共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。 なお、図書館につきましては「横浜市図書館ビジョン」に基づき、駅や商業施設などで、予約した本の受け取りと返却が出来る図書取次拠点が市内12カ所に整備されました。今後市域全体に図書取次拠点を増やしていく予定です。
12	より住みやすい町とするには、交通の利便性が必要。バスの運行数が激減し、特に子ども・年寄の方はバスが頼りなので深刻です。今までの規制を取り払ってでも進めないと転出者が増えると思う。	地域交通や移動支援については、地域の個別・具体的なニーズを拾いながら、地域課題を把握し、様々な支援、手段を検討することが必要です。計画においては、「地域課題の抽出と課題解決に向けた取組の検討」を掲げており、こうした話し合いの場も含めて取組を進めてまいります。 なお、市域全体においても「横浜市地域公共交通計画」に基づき、日常生活の移動が不便と感じる地域に、地域公共交通の充実を図る取組を進めておりこうした制度活用も含め、地域や関係機関とともに課題解決の取組を進めていきます。

(4) 小学生からの意見

小学6年生が地域について学ぶ授業と連携し、ご意見をいただきました。いずれの意見も趣旨が素案に含まれているものですが、一つの意見で複数の項目にまたがるものや重複した意見がありましたので、要旨と対応の考え方をまとめています。

頂いたご意見(要旨)	対応の考え方
スポーツ・イベントなどによる交流に関する意見 13件	<p>イベントなどを通じて様々な人たちと交流することは地域の活性化やつながりを生みことが出来る重要な取組です。こうした地域行事は地域住民が主体となって数多く行われており、頂いた意見を地域活動の担い手の方々とも共有させていただきます。計画の中でも、「様々な人との交流の推進」を掲げており、今後も計画の中で推進していきます。</p>
公園整備・緑化に関する意見 9件	<p>安全で清潔な公園が維持されることは、子どもたちの健やかな成長や健康づくり、地域の交流を促進するうえでとても大切です。</p> <p>現在、区役所だけでなく、「公園愛護会」など地域のボランティアの皆さんのが、草刈りや清掃などの美化活動に取り組んでくださっています。</p> <p>こうした取組は、区役所の限られた予算や人員の中で工夫を重ねながら進めているものであり、地域の皆さんのご協力が大きな支えとなっています。近年は、活動を担ってくださっている方々の高齢化も進んでおり、継続が難しくなってきている状況です。そのため、子どもたちや若い世代の皆さんにも、地域の一員としてぜひ活動に参加していただけると嬉しく思います。</p> <p>今後も地域の皆さんと協力しながら、子どもたちの声を大切にした公園づくりを計画の中で進めてまいります。</p>
あいさつ・ごみ拾いなど地域活動に関する意見 9件	<p>あいさつやごみ拾いなどは身近なところから始められる地域活動です。人とのつながりや支え合い、マナーアップなどにもつながります。計画の中でも「新たな担い手の発掘・育成」を掲げており、子どもたちが地域活動にお手伝いとしての参加を促すなど、若い世代の方々が地域とつながりを作る取組なども進めています。こうした取組を通じて、多世代や多様な主体が担い手として地域に関わる取組を進めています。</p>
その他(防犯など) 1件	<p>地域で防犯について取り組むことは、安全安心なまちづくりの上でもとても重要です。計画の中でも「みんなで安心・安全な地域づくりに取り組む」と掲げており、今後も計画の中で推進していきます。</p>